



【戦評シート】

平成 17年 5月 5日(木)	協会名： 能代市 バスケットボール協会
場 所：能代市総合体育館	記入者：畠山雅樹
チームA BG 7 4 9 7	チームB 能代工業

}	27 - 24	}	8 1
}	24 - 13	}	
}	16 - 19	}	
}	30 - 25	}	

スターター	チームA： 5, 9, 10, 14, 15
	チームB： 5, 7, 8, 9, 10
ディフェンス (試合開始時)	チームA： マンツーマン ゾーン(2 - 3) その他() チームB： マンツーマン ゾーン(2 - 2 - 1ゾーンプレス) その他()

第1Q、BG は ユルゲンセンがアウトサイドから、ボスがインサイドからと得点し9 - 0とリードする。一方、能代工業は 齋藤 満原が3P シュートで応戦するが残り5分で18 - 9と差は縮まらない。しかし、ここから能代工業はインサイドのディフェンスを固め、相手の得点を抑え、逆に 満原がシュートを決め、残り2分43秒には20 - 15と5点差までつめたところで BG がタイムアウト。その後、能代工業 下山が立て続けにシュートを入れて、20 - 20とついに同点。その後両チームとも得点し、27 - 24とBG3点リードで終了。

第2Q、出だしから一進一退の攻防となり、BG は ニース ボス、一方能代工業は 満原がシュートを決めるが、残り4分で41 37とBG4点リードとその差は変わらず。その後、能代工業のシュートが落ち始めるが、BG は ブルネルト カリコウスキーがテンポ良くシュート沈め、51 - 37と一気に得点を重ね、14点リードで第2Q 終了。

第3Q、BG はボールをしっかりと回しディフェンスを揺さぶり、ボスが高さを生かして次々にゴール下で得点する。能代工業は 西山がスピードあるプレイで応戦するが、なかなか点差は縮まらない。残り2分には、齋藤が連続で3P シュートを決め、64 54と10点差まで追い上げる。BG は ハイイツが入れかえし、67 56の11点差で第3Q 終了。

第4Q、能代工業は、齋藤 下山 西山らが果敢に3P をねらい、必死に追い上げる。BG は ニースが落ち着いた試合運びで、ニケタ得点差を保ち続ける。能代工業は終盤 長谷川がジャンプシュートで応戦したが、最後まで着実にシュートを決めた BG が97 81で勝利。全勝で優勝を決めた。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。